

話を聞かない男、地図が読めない女 アラン・ピーズ; バーバラ・ピーズ.

いまの世の中では、技能や適性、能力において、男女差はないことになっている——だが、その前提が完全な誤りであることは、科学の世界では以前から知られていた。だとすると、私たちがいままで掘りどころにしてきた考えも、大きく揺らぐことになる。男と女がもっと充実した人生を送るには、おたがいの弱点をあげつらうのではなく、性によるちがいを理解するしかない。

白目の面積は、男より女のほうが大きい。

...

白眼の部分が多ければそれだけ表情も豊かになるし、相手の目の動く方向を読みとることで多彩な信号をうけとることができるからである。

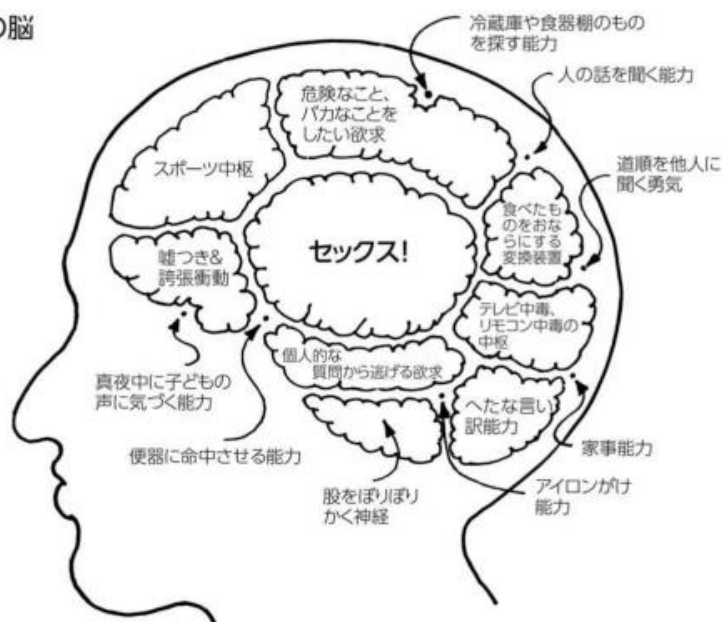
女が男に嘘をつくのはさほど難しくない。男は鈍感だから、言葉やそれ以外の信号が食いちがっていても気づかない。

声の大きさや高さのかすかなちがいを、女は敏感に察知する。だから相手の気持ちの変化を声からつかむことができる。音痴を男女別で見ると男のほうが八倍も多い。

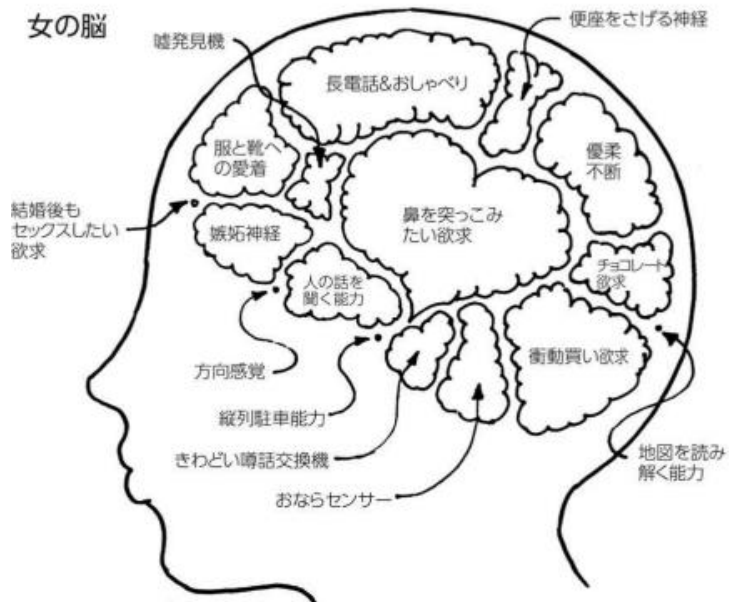
髪を払い、わざとらしく自分の太腿に手のひらをすべらせ、耳たぶを指でもてあそび、彼をじっと見つめ、ワイングラスの脚にそえた手を思わせぶりに上下させ、女子高生みたいな甘ったるいしゃべりかたまでしていた。だが男は狩人だ。地平線のかなたにいるシマウマを発見し、すばやい動きをとらえることはできても、その気になった女が声や見た目、身体の動きを駆使して目の前で繰り返すボディランゲージには無頓着なのである。だがパーティ会場にいた女たちは全員、見ていないようであり、その「ふしだら女」の動向を観察していたはずだ。そしてテレバシーさながらの「危ない女警報」をすばやく交信していたにちがいない。

女は高度な女知覚情報が飛び交う世界に生きている。女どうしでは、おたがいの言葉や声、ボディランゲージを解釈して、相手の要求を理解することができるから、当然男にも同じことを期待する。だが残念なことに、それは無理な話である。自分が何を望み、何をしてほしいか、黙っていても男が察してくれると信じているから、思いどおりにならないとき、女は男をなじる。

男の脳



女の脳



男は女にくらべて、会話がへただ。これは何千年も前からわかっている事実である。

ティーンエイジャーの娘に、前夜のパーティについてたずねれば、出席していた子たちがどんな服を着ていて、誰が何を言ったとか、雰囲気はどうだったなど、こと細かに話すだろう。息子に同じ質問をしても、「ああ……良かったよ」で終わりだ。

男の頭は問題点に索引をつけて整理できるが、女の頭はひたすら問題をかきまわすだけ。そのため女がやっかいごとを振りはらうには、それについてしゃべって問題点を認知するしかない。だから今日起こったことを女が話すのは、結論や解決策を見つけるためではなく、憂さを晴らしてすっきりするのが目的なのだ。

マルチトラック

お手玉を3～4個同時に投げ合うような芸当を、女たちは苦もなくやってのける。しかも女どうしの会話では誰もがそれをやり、ひとりもお手玉を落とさない。

男はすこと、聞くことを一度にどちらかしかできないだけだ——同時にはこなせないのである。

女の話は遠まわしで、望んでいることをまわりくどい言いかたで表現する。婉曲話法は女の専売特許だが、それにはちゃんと目的がある——攻撃や対立、不和を避けて、相手と親しくなり、関係を築くことだ。巣を守る者として、調和を保つための大切な手法なのである。

男の場合、感情の中心が右脳にある。

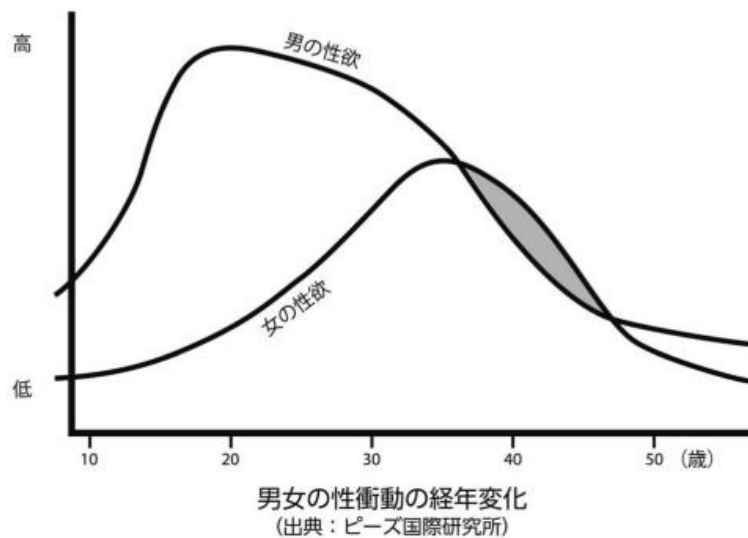
…

しかし女の感情は左右の脳に広く分布していて、ほかの機能と連動している。だから議論のとき感情的になりやすい。

女はおしゃべりして、抱きしめてもらいたいのに、男は安楽椅子にひとり座り、暖炉の炎を静かに見つめていたいのだ。女から見れば、そんな男は薄情で無関心に映るし、男にとって女は訳知り顔でうっとうしい存在になる。

男は五〇～六〇代に入ると、テストステロンの分泌量が減少して、性格が穏やかになってくる。女はその反対で、更年期を過ぎるとエストロゲンが減り、相対的にテストステロンのほうが多くなってくる。

男のセックスは、たとえば言うなら電子レンジである——スイッチを入れると同時に最大出力で加熱をはじめ、調理が終わったらぱっと消える。だとすれば女の性衝動はオーブンだろう——最高温度に上がるまで時間がかかるが、なかなか冷めない。



たいていのカップルは、男女の性欲ピークにちがいがあことを理解せず、自分の要求ばかり押し付ける。これではうまくいくはずがない。

ロージー・キング 著『グッドラビング・グレートセックス』や、ジョン・グレイ 著『愛

が深まる本』（三笠書房刊）には、こうした年代による性欲差を解消するためのテクニックが盛り込まれているので、一読することをお勧めする。

アラン・ピーズ；バーバラ・ピーズ．話を聞かない男、地図が読めない女．主婦の友社．Kindle 版．